

第73回

日本伝統工芸展

2026年12月2日(水) - 25日(金) 会期中無休

[開館時間] 10時 - 18時30分 (展示室への入場は18時まで)

主催: 島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、NHK松江放送局、朝日新聞社、
山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまねグループ

後援: 鳥取県、鳥取県教育委員会、公益財団法人しまね産業振興財団、公益財団法人しまね文化振興財団
特別協力: 日本通運株式会社

日本工芸会総裁賞《花籃「壽声」》大木 淑恵

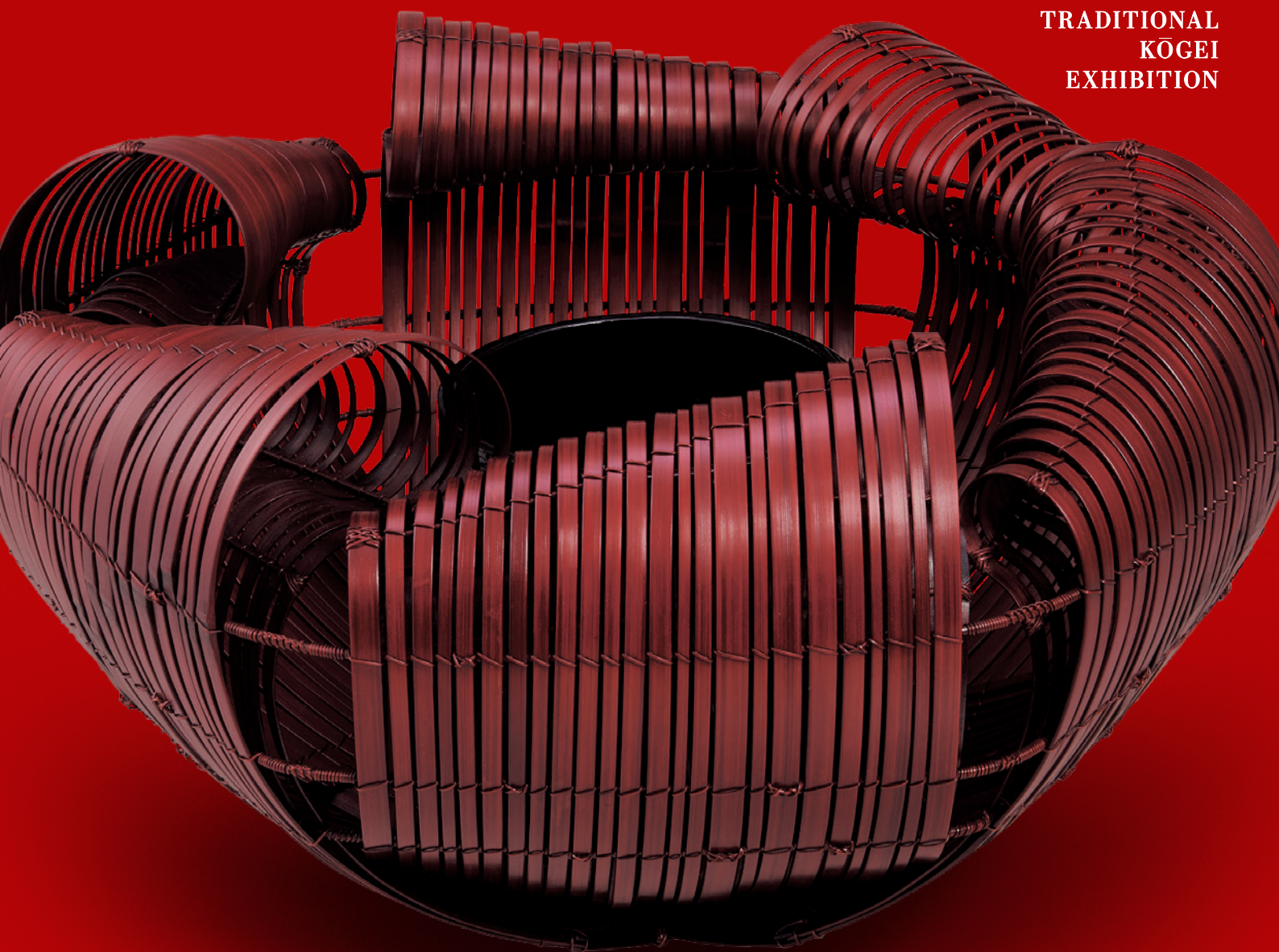


文化庁
令和8年度
文化庁補助事業

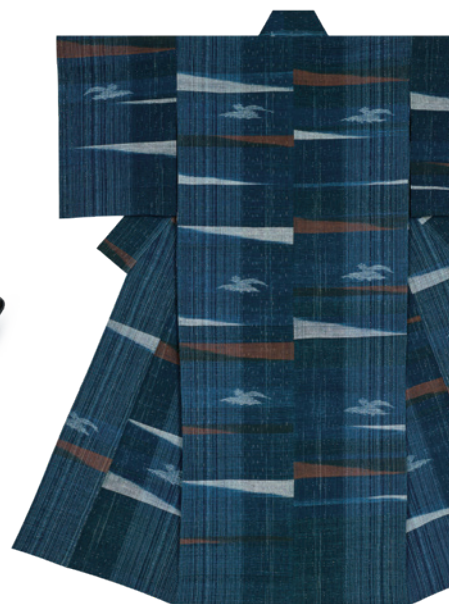
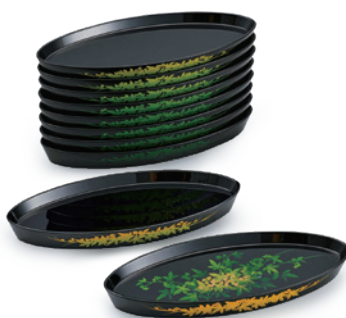


島根県立美術館

THE 73rd
JAPAN
TRADITIONAL
KOGEI
EXHIBITION



KOGEI



KŌGEI

THE 73rd JAPAN TRADITIONAL KŌGEI EXHIBITION

日本伝統工芸展は工芸技術の保護育成を目的に、1954年より毎年開催されている公募展です。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門にわたり、厳正な審査を通過した作品が11会場で展覧されます。24回目を迎える松江会場では、地元山陰に在住する作家の作品をはじめ、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品や受賞作など計270点を展示します。

記念講演会 聴講無料

12月6日(日)13時30分～(13時開場/約60分)

講師:中田 一於

〔陶芸家、重要無形文化財「釉下彩」保持者(人間国宝)〕

演題:「釉裏銀彩 ―唯一無二の技を目指して―」

会場:美術館ホール(190席/当日先着順)

中田 一於(なかだ かずお)

1949年石川県小松市生まれ。家業の中田錦苑窯で陶芸技術を習得し、同郷の陶芸家で重要無形文化財「彩釉磁器」保持者であった三代徳田八十吉に指導を受ける。色釉の下に銀彩等を施す釉下彩技法を得意とし、特に「釉裏銀彩」の作品で高い評価を得ている。本展では第29回展で日本工芸会奨励賞、第37回展で文部大臣賞、第57回展では日本工芸会保持者賞を受賞。2011年に紫綬褒章、2019年に旭日小綬章を受章している。昨年、重要無形文化財「釉下彩」保持者に認定された。



《白銀釉裏金銀彩叢文鉢》
重要無形文化財保持者 中田 一於

ギャラリートーク 要覧観覧料

会場:企画展示室 各日14時～(ただし6日は講演会終了後)

12月5日(土)【漆 芸】松本 達弥〔鑑査委員〕

12月6日(日)【陶 芸】中田 一於〔重要無形文化財「釉下彩」保持者〕

12月12日(土)【木竹工】濱田 幸介〔出品作家〕

12月13日(日)【染 織】築城 則子〔受賞作家〕

12月19日(土)【諸工芸】名倉 鳳山〔鑑査委員〕

12月20日(日)【人 形】木村 美智子〔鑑査委員〕

観覧料

〔オンラインチケット・ローソンチケット〕11月2日より販売

一 般 日本伝統工芸展 700円 日本伝統工芸展・コレクション展セット 900円

※オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます。(ローソンチケット/Lコード61879)

〔当日券〕一 般 日本伝統工芸展 800(640)円

日本伝統工芸展・コレクション展セット 1000(800)円

大学生 日本伝統工芸展 600(480)円

日本伝統工芸展・コレクション展セット 730(580)円

高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

かぞくの時間

こどもといっしょの鑑賞優先時間
作品についてお子様とお話しながら鑑賞いただけます。毎日10:00-12:00(休館日を除く)

次回企画展
予告

江戸エンタメの最高峰!
浮世絵スーパークリエイター 歌川国芳展
2027年1月15日(金)～3月15日(月)

- ・JR松江駅から徒歩約15分
- ・JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分
- 「県立美術館前」下車
- ・観光ループバス(レイクライン)
- 「県立美術館前」下車
- ・山陰道→松江西ランプから車で約5分

国道9号袖師交差点南進
(駐車場より地下道をご利用ください)
※3時間まで無料



島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>

(左上から右に)《広瀬耕翁「蒼々」》永田 佳子(安来市)、《白瓷面取壺》重要無形文化財保持者 前田 昭博(鳥取市)、《有線七宝蓋物「初冠雪」》橋詰 肇子(鳥取市)、《層景省胎七宝鉢「たそがれ」》松本 三千子(松江市)、《硝子鶴首花器「悠寂」》川邊 雅規(出雲市)、《雷天青瓷四弁花鉢》坂本 章(鳥取市)、《花紋壺》高橋 幸治(松江市)、《松造拭漆盛器「Canon」》村山 創造(松江市)、《樽造拭漆鉢》濱田 幸介(松江市)、《瑠璃釉壺》森 和之(鳥取市)、《存清路々皿「彩りがさね」》高橋 香葉(松江市)、《本綿紡着物「ピカソ ゲルニカ追憶 Peace (No.2)」》福井 禎(倉吉市)